

(様式1)

あたみホーム運営推進会議報告書

開催日時	平成25年12月20日(金) 15時00分~15時30分	
場 所	あたみホーム 会議室	
参加者	議 題	
利用者	1名	1 報 告
利用者の家族	1名	(1) 施設の現況について
地域住民の代表者、 知見を有する者	1名	(2) 被災施設応援計画書について
郡山市の職員	名	2 意見交換
熱海地域包括支援センター職員	1名	
事業所	2名	
会 議 録		
1 報 告		
(1) 施設の現況について		
・ 利用状況 別紙のとおり		
・ 活動状況 別紙のとおり		
(2) 被災施設応援計画書について		
火災又は自然災害等が発生した場合の、被災施設への応援を円滑に行うことを目的とする、県中地区災害時施設相互応援協定書に基づく応援要請及び避難受入れに対応するため、被災施設応援計画書を策定しました。		
2 意見交換		
(園長) (利用者様)は100歳とお伺いしましたが、すごく若々しいですね。		
(利用者様) はい、100歳ですよ。		
(園長) 長生きの秘訣は何ですか。		
(利用者様) 別に普通の生活でしたよ。苦しいようなことも無かったしね。		
(園長) 肌つやもいいし、声もはりがあっていいですね。歌もお上手なんじゃないですか。		
(利用者様) ありがとうございます。歌いますよ。		
(園長) 楽しいことは何かありますか。		
(利用者様) 子供とどこか温泉にでも行けたらいいですね。生まれが静岡なので、伊豆の温泉もいいですよ。家から富士山が年中見えましてよ。こちらの人は富士山が珍しいんだね。私は生まれた時から見ていたからね。		
(園長) 食事はどうですか。		
(利用者様) 美味しく食べています。		
(園長) 1番好きなものは何ですか。		
(利用者様) 何でも食べます。でもニンニクは好きではないね。臭いがだめだね。		

(園長) 夜はよく休めますか。いつも何時頃寝ますか。

(利用者様) よく休めます。いつも9時ごろです。皆さんとこうやっているのが一番ですね。

(園長) 足も丈夫ですね。

(利用者様) 杖をついて歩いているけど、足も丈夫です。

(園長) (利用者様)は何月生まれですか。

(利用者様) 2月生まれで、今度101歳になります。

(園長) これからも元気で長生きして下さい。

(利用者様) ありがとうございます。よろしく申し上げます。

(利用者様のご家族) 年間の行事を見ていますが、いろいろ催し物があって、ありがたいと思います。家族、姉妹がたくさんいる為、年に1回リステル猪苗代で集まっています。ホームから車で連れて行ってもらって、会う事ができてとてもありがたいと思っています。他にも桜の季節に花見などに連れて行ってもらっています。外の空気に触れるのはいいですね。

(地域包括支援センター職員) 在宅で暮らしている方々の訪問をしています。2人暮らしの方の1人が施設に入所したケースがありました。ご家族は、本当は家で見ていきたいと思っておりましたが、1人では介護が困難なため施設への入所を決めました。施設へ入所した方が認知症もあり、なかなか施設に慣れないことから、施設に迷惑をかけているのではないかと、ご家族が行っても何もできないなど、ご家族には複雑な思いがありました。ご家族の方には、施設の相談員さんや、職員さんに相談してみて下さいと声を掛けました。利用者様もご家族もいい状態で生活を送られればと思っています。

(園長) 新しい入所者とご家族の関わりについてどうですか。

(介護長) 入所した当初は落ち着いていましたが、少し慣れた頃に不穏状態があって、ご家族に来ていただいたことがありました。ご本人が「家族を呼べ」と言って、実際にご家族が来園されたときに、利用者様から「何をしにきたんだ」等の言葉が出たり、利用者様の興奮状態を目の当りにして複雑な思いをして帰られることもあります。ホームだけでは対応が難しいケースがありますので、ご家族の協力、つながりを大事にしていきたいと思っています。

(地域包括支援センター職員) そのあたりのご家族との距離の取り方やつながりが大切ですね。

(園長) 最近入所される利用者の多くは高齢世帯の方で、1人が入所すれば配偶者の方も高齢なため、ご家族も含めたケアが必要となります。このようなケースが増えてくるのかなと思います。

(地域住民の代表) 私たちボランティアも高齢になってしまい、活動ができてまわりから高齢者とみられないように「シャキ！」っとしなくてはいけないと思います。現在、ゆうあい訪問という活動をしています。先日は、75歳以上の高齢者世帯におふかしときんぴらごぼうにお花を添えて届けてまいりました。お

話しを伺いながら安否確認を行ったりと、1人暮らしの方との関わりを持っています。また、ホームにお邪魔する機会もあり、職員の方が忙しそうに動いている様子を見て大変そうだと感じました。私たちにも何かできることがあると思いますので、声をかけていただければ協力していきたいと思います。

(園長)　今回は、地域包括支援センターの職員の方から、新しい利用者様とご家族との関わりについて話がありました。私たちは、この辺りの様々な状況を色々と勉強して行かなくてはならないと感じております。これからも利用者の皆様が、ホームでの生活を楽しく、元気に送ることができるよう、サービスの向上に努めて参りたいと思います。